

入門編

第13回 修了パーティ と マナー・エチケット

1. 各種目の音楽を短めに演奏し、2～3曲でパートナーを交換して踊る。
2. 途中でパーティ・ダンスやゲームを入れて全員が協力し楽しい雰囲気を作る。事前に、ゲームの賞品（安価な物でよい）や、休み時間の飲食も用意しておき、コーナーに椅子を用意し、その間に「パーティに出席した時のマナーやエチケット等の説明がある。
3. 次回からの「初級編」に進む人、もう一度「入門編」をやりたい人などの希望をとる。年配者や人によって、なかなか覚えられない人もいるし、どんどん進んでしまうと、途中から初心者は入れなくなってしまう。
サークルは常に補充を考えていないといけない。必ず途中で止めていく人が出ること（仕事や転居等で）はやむを得ない、と思わなければならない。
4. 反対に、とても覚えが良い人は、指導者の資格の取得や、女性の方で興味があれば、男性のステップを覚えて戴くと、男女が同数でなくてもその会が上手く機能する様になる。女性が男性のステップを覚えると「男性を引っ張る」と嫌がる男性がいるが、正しくない。女性も自分の足で立って・送り出せる様になると確実に軽く、大きな動きが出来るようになる。（女性もリズムを…）男性同士が踊ることは、マナーに反するが、女性同士で踊るのは一向に差し支えない。外国では女性同士で踊る「オール・レディース」という競技会もある。
5. 少し踊れる様になったならば、仲間同士で誘い合って「ダンス・ホール」やパーティ、その他に踊りに行くのも良い。違う場所やいろいろな音楽に合わせて踊ることは貴重な経験になる。少し自信がついたならば、知らない人とも踊ってみよう。
いろいろな癖の有る人がいることに気が付かれよう。その経験が自分は誰とでも踊れる、という自信となる。
他のサークルの人たちの踊りを見れば、自分の欠点に気が付くことも多い。
正に、「人の振り見て我が振り直せ」である。

ハッピー・ダンシング！